
いのちの言葉 1月

2020年1月

島の住民たちは私たちに、ひとかたならぬ親切を示してくれた

(使徒言行録 28章2節)。

2週間にわたる漂流の果て、276人を乗せた船は、地中海の孤島にたどり着きました。彼らはみな、極度に憔悴し、大自然の脅威にさらされ、死の恐怖におびえていました。その中に、皇帝から裁判を受けるために兵士に連行され、ローマに向かって旅を続ける一人の囚人、使徒パウロがいました。

これは、西暦60年頃、福音の宣教者として、その使命を殉教によって全うするため、ローマに向かう使徒パウロ自身の体験です。

パウロは、神のみ摂理に対する揺るがぬ確信をもっていました。ですから彼は、囚人の身でありながら、船がマルタ島に辿り着くまで絶えまなく、漂流する他の仲間たちを励まし元気づけました。

一方、島の住民たちは、寒さに凍える彼らのために火を勢いよく燃え立たせ、彼らに暖をとらせ、冬の間もずっと世話してくれました。やがて、三か月ほどその島に留まった後、パウロとその一行は無事にそこから出航することができましたが、その時も住民たちは旅立つ彼らのために、必要な物資を船に積み込んでくれました。

島の住民たちは私たちに、ひとかたならぬ親切を示してくれた。

パウロとその一行は、福音をいまだ知らない島民たちから、手厚いもてなしを受け助けられる体験をしました。その場限りのものではなく、また、文化や宗教、社会的な偏見にも一切とらわれない温かいもてなしを受けたのです。それは、島民たちが、単に個人的にではなく、共同体としてみんなで、心から彼らを受け容れてくれたので実現したことでした。

この「他者を受け容れる力」は、実に、すべての人間のDNAの中に存在します。信仰がある無しに関係なく存在します。憐み深い御父の似姿として造られた人間の心に刻まれている「掟」だからです。

アブラハム¹の時代から、イエスの「私が旅をしていた時に、宿を貸してくれた」²という衝撃的な啓示にみられるように、神のみ言葉は、人の心に記されたこの掟に常に光を当て、価値あるものとしてきたことが見て取れます。

確かに、私たちはとても弱い存在です。しかしながら、神ご自身の恵みゆえに愛を全うできるよう、私たちにもこのような力と助けが与えられているのです。

パウロは、又、このマルタ島での体験を通して、み摂理を通して物事に介入される神様に信頼を置くように教えてくれます。

そして、人生の中で出会う多くの人の具体的な愛をとおして与えられる沢山の善い物に私たちが気付き、感謝の心をもつようにと教えてくれます。

島の住民たちは私たちに、ひとかたならぬ親切を示してくれた。

今月のみ言葉は、2020年1月に催されるキリスト教一致祈禱週間³のためにマルタ島の諸キリスト教会の方々から提案された使徒言行録の1節です。

マルタの諸教会は、貧しい人々、移民の人々を助けるために協力し合い、食べ物、衣類、子供たちの玩具などを調達し、彼らが社会に順応できるよう英語を教えたり、さまざまな活動をしています。そして、マルタの諸教会の一番の望みは、これからもこの「受け容れる」という姿勢に努めること、又、唯一の信仰を外に向かって証しするために、お互いの交わりをさらに深めていくことです。

では、神様の愛をどのように兄弟に証しできるでしょう？

キアラ・ルービックは、次のように語っています。

「イエスは、あるがままの私たちを受け容れて下さることで、相手をそのまま受け容れることこそ愛だと分からせて下さいました。それは、相手の好みや考え方、欠点や違いさえも、すべて受け容れる心構えで接することです。さらに、相手に対する警戒心や偏見もなくして、拒絶ではなく、却って自分の心の中に、相手へのスペースを与えることでしょう。

事実、私たちが、努力して隣人を受け容れる時以上に、神に大いなる栄光を与えることは他にはありません。こうして兄弟的な交わりの土台が築かれるからです。人々の間に真の一致が築かれること以上に、神に多くの喜びを与えるものはないのです。

皆さんは、一致が私たちの間に、イエスの存在を招くことをご存知でしょう。このイエスの存在には、あらゆる物事を変えていく力があります。ですから、心を尽くしてこの人を受け容れよう、この人との間に、たとえ時間がかかっても相互愛を実現しよう、という心構えをもってすべての兄弟と接するよう努めましょう。」⁴

レティツィア・マグリ

いのちの言葉は聖書の言葉を黙想し、生活の中で実践するための助けとして、書かれたものです。

連絡先：フォコラーレ E-mail: tokyofocfem@gmail.com HP: www.focolare.org/japan
東京：03-3330-5619/03-5370-6424 ・ 長崎：095-849-3812



¹ 創世記 18、1-16 参照

² マタイ 25、35 参照

³ キリスト者一致祈禱週間は毎年1月18日から25日まで行われる。

⁴ キアラ・ルービック、1986年12月いのちの言葉